

新岐阜県庁舎の魅力

清流の国ぎふ
マスコットキャラクター
ミナモ



清流の国ぎふ
ミナモ通信



新年1月4日(水)に**新岐阜県庁舎**が開庁します。今まで以上に質の高い行政サービスの実現を目指して生まれ変わった、**新県庁舎の魅力**を紹介します。

新県庁舎の3つのポイント

「清流の国ぎふ」のショーウィンドー 地域の魅力を発信

ポイント1

外壁に県産タイル、内装にヒノキをはじめとする県産材や美濃和紙をふんだんに活用し、岐阜の魅力を発信します。「GALLERY GIFU」では、展示や映像を通じて岐阜の魅力を紹介します。



ミナモホール



2~3階吹き抜け



清流ロビー



GALLERY GIFU

20階の清流ロビーからは、岐阜の景色が一望できます

災害対策の中核拠点として機能 県民の暮らしを守る

ポイント2

迅速かつ的確な災害対応のため、5階全体を危機管理



災害対策本部

フロアとして整備。大規模災害時でも行政機能を維持できるように高い耐震性を確保し、ライフラインの複線化や浸水対策を実施しています。

人にも地球にもやさしい 環境負荷やライフサイクルコストを低減

ポイント3

照明のLED化、断熱・遮蔽性能の高い窓ガラスの採用、



太陽光発電パネル

電力の3割を再生可能エネルギー由来とする等の取り組みにより、以前の庁舎と比べ、単位面積当たりの温室効果ガス排出量を43.6%削減します。

ユニバーサルデザインへの取り組み 誰もが訪れやすく使いやすい庁舎を目指して

- バス停や障がいのある方などが利用できる駐車場にひさしを設置
- 歩行者と車両の動線をできる限り分離
- 各フロアにユニバーサルトイレを配置
- 議会棟には車いす傍聴席や子ども連れの方でも傍聴できる「親子傍聴室」のほか、手話通訳等を表示する大型モニターを設置

庁舎概要

【敷地】

建設地：岐阜市数田南 地内 敷地面積：158,561㎡(公園等を含む)

【建物】

行政棟

建築面積：7,637㎡
延床面積：68,329㎡
階数：地上21階、塔屋2階
高さ：106m(鉄塔除く)
構造：鉄骨造、
免震構造(一部耐震)

議会棟

建築面積：3,312㎡
延床面積：13,929㎡
階数：地上6階
高さ：32m
構造：鉄骨造、耐震構造

